Creative Enzymes®

ラット由来カルモジュリン依存性プロテインキナーゼII、組換え型

Cat. No. NATE-1273

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	セリン・スレオニンタンパク質キナーゼ：これらのキナーゼは、神□伝達物質の放出、刺激誘発遺伝子発現の制御、および微小管関連タンパク質のリン酸化に関与しているようです。
別名	カルモジュリン依存性プロテインキナーゼII; 9026-43-1

製品情報

種	ラット
由来	S. frugiperda Sf9
形態	100 mM NaCl、50 mM HEPES（pH 7.5 25°C）、0.1 mM EDTA、1 mM DTT、0.01% Brij 35 および 50% グリセロール。
分子量	Apparent: 33 kDa Theoretical: 36 kDa
純度	> SDS-PAGEによって95%決定される
活性	5,000,000 ユニット/mg
濃度	500,000 ユニット/ml
単位定義	1ユニットは、ATP（200mM）からAutocamtide-2（CaMKIIペプチド基質）への1 pmolのリン酸の転送を触媒するために必要な活性化されたCaMKIIの量として定義され、30°Cで1分間、総反□体積30 µlで行われます。

保管・発送情報

保存方法	-70°Cで。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。